

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要

学校名	寒河江市立寒河江中部小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	4	4	4	1	25	36
児童数	101	112	123	113	115	132	3	699	

研究の概要

1. 研究主題

<p>学ぶ喜びのある授業づくり ～基礎・基本の定着をめざして～</p>
---

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年</p> <p>国語 〔すべての教科の基礎となる読解力・表現力を高めるため〕 算数 〔習熟に差がしやすい教科であるため〕</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ</p> <p>学ぶ喜びのある授業づくり ～基礎・基本の定着をめざして～</p> <p>仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良い生活習慣，学習習慣を身につけさせ，学習内容の基礎・基本を大切にしながら，『学ぶ喜び』のある授業づくりを進めていけば，確かな学力の定着につながるだろう。</li> </ul> <p>研究内容・方法</p> <p>本校の重点とする学力，基礎・基本の共通理解 児童の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力テストの結果分析</li> <li>・ 学習習慣の現状分析</li> </ul> <p>授業における基礎・基本の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力実態からの重点単元設定 〔国語・算数〕</li> <li>・ 国語，算数における基礎・基本の設定</li> <li>・ 個に応じた学習教材の開発</li> <li>・ 個を生かす学習形態の工夫〔コース別学習・習熟度別学習・TT指導〕</li> <li>・ 自己の授業の再点検</li> <li>・ わかる喜びが感じられる指導過程の工夫</li> </ul> <p>学校裁量の時間を利用した基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝のスキルタイム 〔100マス練習・音読練習〕</li> <li>・ ジャンピングタイム 〔放課後を利用した高学年の算数学習タイム〕</li> <li>・ チャレンジタイム 〔放課後を利用した低学年の算数学習タイム〕</li> </ul>
--------	--

	<p>一人一人の良さが生かされる学級経営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいの日の設定〔月1回水曜日の放課後〕</li> <li>・子どもとともに学級目標を設定し、日常的に振り返る。</li> </ul> <p>学びに生かせる評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価、相互評価の重視</li> <li>・月例テストの実施〔国語・算数〕</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NRT学力テスト〔春〕 CRT学力テスト〔冬〕の実施</li> </ul>

平成 16 年 度	<p>テーマ 学ぶ喜びのある授業づくり ～基礎・基本の定着をめざして～</p> <p>仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い生活習慣、学習習慣を身につけさせ、学習内容の基礎・基本を大切にしながら『学ぶ喜び』のある授業づくりを進めていけば、確かな学力の定着につながるだろう。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <p>『学ぶ喜び』のある授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模校の良さを生かした共同教材開発〔算数・国語〕</li> <li>・基本的学習習慣の徹底</li> <li>・個を生かす学習形態と支援の工夫</li> <li>・子どもの学習意欲を引き出す指導過程の工夫</li> <li>・個を生かせる評価方法の検討</li> </ul> <p>学校裁量の時間を利用した基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルタイムの充実〔100マス計算・音読・暗唱練習〕</li> <li>・ジャンピングタイム〔3年以上の算数のスキル学習〕</li> <li>・チャレンジタイム〔1・2年の算数のスキル学習〕</li> </ul>
--------------------	--

### (3) 研究推進体制

研究推進委員会...	校長・教頭・教務・副教務 研究主任・推進委員〔各学年1名〕
学年部会	... 各学年に少人数指導担当，教科担当が入り構成する。
特に学年部の打ち合わせを大事にするため会議数は極力減らしていく。	

## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

- (1) 一つの学年でまとまって研究を進めることにより、いろいろな考えや視点での見方ができ、研究に深まりが見られた。また指導者を変えて授業をしたり、学級の枠をこえてコースを設定したり、授業形態を変えたりすることもでき、大規模校の良さが見えてきた。
- (2) 学年で話し合いを多く持つことにより、子どもたちの実態を的確に捉え、どんな力を付けたいかが見え、子どもに変容も見られてやりがいがあった。何より、学年全体で子どもを育てるという実感を持つことができた。
- (3) 学習の基礎的内容の定着のためには学習習慣の基礎・基本が欠かせない。あたりまえのことが年度当初に共通理解されたことによって指導が進めやすく、教師の意識も変わってきている。
- (4) 学ぶ喜びを4つの柱〔わかる・できる、表現できる、交流できる、追究し続ける〕として捉えたことは、学習活動のねらいを明確にする上で有効であった。総合の学習でも〔表現・追究・交流〕の喜びを追究することができた。
- (5) 週に1回の朝のスキルタイムは、子どもたちが集中できる15分間として大切な時間だった。学年として付けたい力を明確にして取り組むと自分の伸びも実感でき、計画的に進めることができた。

### 2. 今後の課題

- (1) 大規模校の良さを生かした指導体制の確立と学年共同教材開発の推進
- (2) 4つの喜びを追求する授業のために有効な手立てを具体的にしていくこと。
- (3) 個に応じた手立てをより検討し、今まで以上に効果的な授業形態や支援のあり方を探ること。
- (4) 学習習慣〔学習の準備・発言の仕方・ノート指導等〕について更に検討し、学年を通しての系統性をもたせていくこと。
- (5) 個を生かす評価方法のあり方を検討していくこと。

### 学力等把握のための学校としての取組

- 1 定期的な標準学力調査の実施 [年2回]  
CRT 1月 NRT 4月
- 2 月例テストの実施 [国語・算数]
- 3 授業改善及び教育課程編成の効果に関わる児童・保護者の意識調査の実施

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

### 公開研究会の開催予定

日時 平成16年10月1日〔金〕午後  
場所 寒河江中部小学校  
テーマ 学ぶ喜びのある授業づくり  
対象 全国の教育関係希望者

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |   |  |  |  |
|----------------------|---|--|--|--|
| 【新規校・継続校】            | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校   | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校  |  |  |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 6学級以下<br><input type="checkbox"/> 13～18学級<br><input type="checkbox"/> 25学級以上 | <input type="checkbox"/> 7～12学級<br><input type="checkbox"/> 19～24学級                        |  |  |
| 【指導体制】               | <input type="checkbox"/> 少人数指導<br><input type="checkbox"/> 一部教科担任制                                    | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導<br><input type="checkbox"/> その他                          |  |  |
| 【研究教科】               | <input type="checkbox"/> 国語<br><input type="checkbox"/> 生活<br><input type="checkbox"/> 体育             | <input type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 音楽<br><input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 算数<br><input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 理科<br><input type="checkbox"/> 家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input type="checkbox"/> 有  | <input type="checkbox"/> 無   |  |  |